

事業シート (概要説明書)

予算事業名	高等学校生徒海外派遣事業				事業開始年度	昭和58年												
上位施策事業名	-				担当部局名	教育委員会												
根拠法令等	-				担当課・係名	教育みらい室県立高校課高校教育担当												
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				作成責任者	戸谷 史												
実施の背景	<p>北日本放送の企画により、置県百年を記念して設置された基金により、当時、海外に留学することが一般的でなかった時代、県内高等学校生徒等を毎年海外に派遣し、国際的な視野を広げ、明日を拓く豊かな青年の育成を図ることを目的として事業が開始となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和57年7月 北日本放送より1億円の寄付受入、昭和58年度より事業実施 ・平成5年2月 北日本放送より3千万円の追加寄付受入、総額1億3千万円 																	
目的 (何のために)	<p>高校生等20名を海外に派遣し、生徒間交流などにより異文化への理解を深め、世界とのつながりの中で、未来の郷土を支え、社会の発展に貢献するグローバル人材の育成を図る。</p>																	
向上が図られると考 えているウェルビーイング 指標の項目	指標① なないろ指標／生きがい・希望	指標② つながり指標 (職場・学校等)	指標③															
対 象 (ターゲットとなる県民 等の属性)	富山県内に居住し、県内の高等学校等に在学中の者 (高等専門学校にあっては、第3学年までの者)						対象者数 (全住民に対する割合)											
	26,281	人	2.61	%														
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 (直営)																	
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)																	
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)																	
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()																	
事業概要 事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)				事業費		活動指標											
	県内高等学校生徒等を海外に派遣				25,952	千円												
	事前・事後研修の実施				268	千円												
	推進協議会等の実施				87	千円												
	団員のしおり、報告書等の作成				363	千円												
						千円												
関連事業 (同一目的事業等)	なし																	
コスト	2024 年度 (予算)		2023 年度 (決算)		2022 年度 (決算)		2021 年度 (決算)											
	事業費合計		26,670	千円	25,396	千円	21,649	千円	事業中止	千円								
	事業費内訳 (2023年度分)		報償費 42千円 (推進協議会、帰国報告会、事前研修、結団壮行会) 旅 費 3,392千円 (団長旅費、管理者旅費、管理員旅費ほか) 需用費 246千円 (報告書、団員のしおり、集合写真ほか) 役務費 37千円 (切手代)、使用料 18千円 (事前研修会場費、タクシー代) 委託料 21,661千円 (派遣旅費)															
	人件費	担当正職員	0.68	人	5,170	千円	0.68	人	4,810	千円	0.68	人	5,017	千円		人	0	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円		人	0	千円		人		千円
		人件費合計	0.68	人	5,170	千円	0.68	人	4,810	千円	0.68	人	5,017	千円	0	人	0	千円
	総事業費		31,840	千円	30,206	千円	26,666	千円	0 千円									
	国補助金			千円		千円		千円										
	国補助金の内容																	
	財源 内訳	地方債			千円		千円		千円		千円		千円					
その他の財源 (使用料、手数料など)		26,670	千円	25,396	千円	21,649	千円	0 千円										
その他の財源の内容		富山県高等学校生徒会外派遣事業基金、生徒等負担金																
一般財源		5,170	千円	4,810	千円	5,017	千円											
財源合計		31,840	千円	30,206	千円	26,666	千円	0 千円										

事業シート (概要説明書)

予算事業名		高等学校生徒海外派遣事業			事業開始年度	昭和58年		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		高校生等派遣人数 (参加人数/募集定員)			人	20/20	20/20	-
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		派遣地での研修内容について「とてもよい」「よい」と回答した生徒の割合			%	96/100	96/100	-
		考え方や意識、行動、態度などが変わったと回答した生徒の割合			%	95/100	100/100	-
		国際社会に対する視野が広がったと回答した生徒の割合			%	95/100	95/100	-
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p><自己評価> 生徒の事後アンケートの結果から、多くの生徒が研修に満足するとともに、自身の成長を実感していることがうかがえる。令和5年度までに、計812名の生徒を派遣しており、参加した生徒からは、「今回の研修をとおして、将来の夢が明確なものになった。」「たくさんの方に出会い文化や価値観など、さまざまなことを学ぶことができた。」など、派遣地での生徒間交流などによる異文化への理解を通じ、自己の成長を感じることができたという感想が多く聞かれた。また、事前研修等における他校の生徒との交流をとおして協調性や相互理解をする力などを育てている。本事業の参加者の中には、高校卒業後、国際交流に関わる職に就くなどし、国際的に活躍している方もいる。 以上のように、本事業における成果は顕著であり、財源の残高が少ないという課題があるが、事業を継続していきたいと考えている。</p> <p><課題> ・近年は、各校において修学旅行や希望者による海外留学を実施するなど、本事業が始まった40年前とは状況が異なり、現在は海外旅行が一般的になっている。 ・令和6年度以降、事業に充当可能な基金等の残高は2,780万円余りであり、令和6年度は派遣先をアジアとすることで経費の削減を図っているが、令和7年度には基金の残高がなくなる見込みである。 ・現段階で追加の支援はない見込みである。 ・クラウドファンディング等で基金を募ることも考えられるが、他課、他県のクラウドファンディングにおける寄附額の実績に鑑みると、年間1,000~2,000万円を充足させることは非常に困難であると考えられる。</p>						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	高等学校生徒海外派遣事業	事業開始年度	昭和58年
<p>比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)</p>	<p><長野県：直営>学びの改革支援課 (教育委員会) 「海外での学び」推進事業 信州つばさプロジェクト (高校生海外留学支援制度) ※クラウドファンディング実施 (R4年度目標金額1,500万円、受付金額197万円、達成率13%)</p> <p><茨城県：直営>学校教育部高校教育課 (教育庁) いばらき海外留学支援事業 (一般財源700万円) 短期留学支援 (12日以上30日以内)：募集50人、上限10万円 (R5実績：4名) 長期留学支援 (原則1年間)：募集2人、上限100万円 (R5実績：2名)</p> <p><山梨県：直営>県民生活部私学・科学振興課 (知事部局) 山梨県大村智人材育成基金山梨県若者海外留学体験人材育成事業 (高校生コース) 留学生募集 (基金総額20億円、運用益960万円・一般財源500万円程度で支援) 補助限度額：50~100万円、採択実績 R5：5名、R6：8名</p> <p><青森県：直営>地域交通・連携課 (知事部局) 高校生海外フィールドワークチャレンジ2024 (一般財源1,300万円) 採択チームの海外フィールドワークに係る経費のうち、支援対象経費の上限の範囲内で次の経費を支援 (同じ学校で3~10人程度のチームをつくり、応募) ・欧米等：1チーム当たり上限520万円程度 ・アジア地域：1チーム当たり上限240万円程度</p> <p><富山県：直営>教育みらい室県立高校課 (教育委員会) 高等学校生徒海外派遣事業 (富山県高等学校生徒海外派遣事業基金：残額約2,784万円) 12日間、募集20名 (自己負担は派遣に要する経費の3分の1程度)</p> <p><県内市町村における高校生の海外留学・海外派遣への支援> 4市町村で実施 (全15市町村) 高岡市：高岡市海外留学支援奨学金 (1名50万円) 砺波市：海外留学支援奨学資金奨学生 (1名50万円) 立山町：立山町高校生台湾派遣事業 (参加者負担金3万円程度※その他旅券取得費用以外は全額補助) 朝日町：海外派遣研修補助金 (2万円)</p>		
<p>特記事項</p>	<p>なし</p>		

第42回富山県高等学校生徒海外派遣事業実施要項

- 1 趣 旨 県内高等学校生徒を海外に派遣し、国際的な視野を広げ、明日を拓く豊かな青年の育成を図る。
- 2 主 催 富山県、富山県教育委員会
- 3 推進協議会 富山県高等学校生徒海外派遣事業推進協議会において、事業の効果的な運営の在り方及び実施について協議する。
- 4 事業の概要
 - (1) 研修テーマ ベトナム、シンガポール、マレーシアと富山県の持続的な発展
—未来を切り拓くグローバル・リーダーの育成—
 - (2) ねらい 事前研修でふるさと富山を理解し、世界に発信する能力を養うとともに、ベトナム、シンガポール、マレーシアの高校生や、現地企業等との交流を通して、文化、生活習慣、価値観の違いを知り、国際協調の大切さを理解する。
 - (3) 派遣先 ベトナム、シンガポール、マレーシア
 - (4) 派遣期間 令和7年3月中の12日間程度
 - (5) 派遣人数 24名（高校生20名、団長等3名、報道記者1名）
 - (6) 派遣地における研修内容
 - ア 行政機関等への表敬訪問により国際親善を図る。
 - イ ホームステイや授業参加等の生徒間交流で、生活習慣や価値観の違いを知り、国際協調の大切さを理解する。
 - ウ 生徒間交流の場で、ふるさと富山の魅力を英語で発信する。
 - エ 現地進出の日本企業関係者との意見交換や仕事見学を通して、日本人の活躍ぶりを知り、海外でのビジネス習慣の違いや共生の在り方を理解する。
 - オ 現地での体験研修でより深くその地域の特性を知る。
 - (7) 事前・事後の研修内容
 - ア 県内各地での研修や各種資料を活用して、ふるさと富山の理解を図る。
 - イ 英語によるプレゼンテーションの練習をする。
 - ウ 県内ものづくり先端企業の見学や経営者へのインタビュー等により、経済のグローバル化の実際を理解する。
 - エ 報告書を編集し、帰国報告会を開催する。
- 5 参加資格 次の各項に該当する高等学校生徒等で、校長の推薦を受けた者。
 - (1) 富山県内に居住し、県内の高等学校等に在学中の者、高等専門学校にあつては第3学年までの者。
 - (2) 研修テーマについて興味・関心があり、自ら課題を設定して学ぼうとする意欲をもつ者。
 - (3) 学校又は地域社会等で指導的な活動を行い、かつ模範となる者。
- 6 団員の推薦及び決定 校長の推薦に基づき県教育委員会が決定する。
- 7 派遣経費 派遣に要する経費の負担区分は次による。
 - (1) 派遣に要する経費の3分の1程度及び研修のための交通費、旅券取得及び渡航手続きに要する経費並びに任意加入の海外旅行保険料は、自己負担とする。
 - (2) 前項以外の経費は、県が負担する。
- 8 その他
 - (1) 希望者が派遣予定数を超えた場合は、自己推薦書および小論文を参考に選考する。
 - (2) 団員として決定した後であっても不相当と認められた者は、決定を取り消すことがある。
 - (3) 出発後、団員の資格を取り消された者及び本人の責めによる疾病・事故等により、他の団員と同一行動をとることが不可能となった者は、帰国に要する一切の経費を自己負担とする。

○富山県高等学校生徒海外派遣事業の経過

回	派遣年度		派遣国	主要都市	派遣期間	派遣人員							
						生徒			団長等	報道	計		
						男子	女子	計					
第1回	昭和58年度	(1983年度)	イギリスフランスイタリア		58・12・21～59・1・5	12	6	18	2	1	21		
第2回	昭和59年度	(1984年度)	イギリスフランスイタリア		59・12・21～60・1・5	10	9	19	2	1	22		
第3回	昭和60年度	(1985年度)	イギリスフランスイタリア		60・12・20～61・1・4	11	8	19	2	1	22		
第4回	昭和61年度	(1986年度)	イギリス西ドイツフランス		61・12・21～62・1・5	16	12	28	3	1	32		
第5回	昭和62年度	(1987年度)	イギリス西ドイツフランス		62・12・20～63・1・4	14	14	28	3	1	32		
第6回	昭和63年度	(1988年度)	イギリスオランダフランス		63・12・21～64・1・5	14	14	28	3	1	32		
第7回	平成元年度	(1989年度)	イギリスオランダフランス		2・3・13～2・3・28	16	12	28	3	1	32		
第8回	平成2年度	(1990年度)	湾岸戦争のため派遣中止										
第9回	平成3年度	(1991年度)	イギリスフランス		4・3・16～4・3・29	9	19	28	3	1	32		
第10回	平成4年度	(1992年度)	イギリスオランダ		5・3・12～5・3・25	14	14	28	3	1	32		
第11回	平成5年度	(1993年度)	イギリスオランダ		6・3・11～6・3・24	5	23	28	3	1	32		
第12回	平成6年度	(1994年度)	フランスベルギーオランダ		7・3・16～7・3・29	10	18	28	3	1	32		
第13回	平成7年度	(1995年度)	フランスベルギーオランダ		8・3・14～8・3・27	8	20	28	3	1	32		
第14回	平成8年度	(1996年度)	フランススウェーデンオランダ		9・3・13～9・3・26	11	17	28	3	1	32		
第15回	平成9年度	(1997年度)	フランススウェーデンオランダ		10・3・13～10・3・27	7	21	28	3	1	32		
第16回	平成10年度	(1998年度)	デンマークフランスオランダ		11・3・12～11・3・26	8	12	20	3	1	24		
第17回	平成11年度	(1999年度)	ドイツオランダフランス		12・3・13～12・3・25	2	17	19	3	1	23		
第18回	平成12年度	(2000年度)	ドイツオランダベルギー		13・3・14～13・3・26	5	13	18	3	1	22		
第19回	平成13年度	(2001年度)	中国	北京・大連・瀋陽・西安・上海	14・3・14～14・3・26	7	13	20	3	1	24		
第20回	平成14年度	(2002年度)	中国	北京・大連・瀋陽・西安・上海	15・3・10～15・3・22	4	16	20	3	1	24		
第21回	平成15年度	(2003年度)	アメリカ合衆国	オレゴン州・カリフォルニア州	16・3・10～16・3・20	7	13	20	3	1	24		
第22回	平成16年度	(2004年度)	中国	北京・大連・瀋陽・西安・上海	17・3・9～17・3・21	4	14	18	3	1	22		
第23回	平成17年度	(2005年度)	アメリカ合衆国	オレゴン州	18・3・8～18・3・18	2	14	16	3	1	20		
第24回	平成18年度	(2006年度)	中国	北京・瀋陽・西安・上海	19・3・8～19・3・18	7	11	18	4	1	23		
第25回	平成19年度	(2007年度)	中国	北京・瀋陽・西安・上海・蘇州	20・3・6～20・3・18	6	12	18	3	1	22		
第26回	平成20年度	(2008年度)	中国	北京・瀋陽・西安・上海	21・3・8～21・3・19	3	16	19	3	1	23		
第27回	平成21年度	(2009年度)	ドイツ・オランダ	アムステルダム、フランクフルト、フライブルグ、ライデン	22・3・5～22・3・16	3	17	20	3	1	24		
第28回	平成22年度	(2010年度)	中国	北京・瀋陽・大連・上海・蘇州	23・3・8～23・3・19	8	11	19	3	1	23		
第29回	平成23年度	(2011年度)	中国	大連・瀋陽・西安・上海・北京	24・3・7～24・3・18	5	15	20	3	1	24		
第30回	平成24年度	(2012年度)	シンガポール、タイ、台湾	シンガポール、バンコク、台北	25・3・4～25・3・15	3	17	20	3	1	24		
第31回	平成25年度 置県130年記念	(2013年度)	シンガポール、マレーシア、台湾	シンガポール、クアラルンプール、台北	26・3・10～26・3・21	3	21	24	4	1	29		
第32回	平成26年度	(2014年度)	アメリカ合衆国	オレゴン州	27・3・9～27・3・20	7	13	20	3	1	24		
第33回	平成27年度	(2015年度)	アメリカ合衆国	オレゴン州	28・3・7～28・3・18	3	17	20	3	1	24		
第34回	平成28年度	(2016年度)	台湾、シンガポール、マレーシア	台北、シンガポール、クアラルンプール	29・3・6～29・3・17	8	11	19	3	1	23		
第35回	平成29年度	(2017年度)	台湾、シンガポール、マレーシア	台北、シンガポール、クアラルンプール	30・3・5～30・3・16	4	16	20	3	1	24		
第36回	平成30年度	(2018年度)	台湾、ベトナム	台北、ハノイ、ホーチミン	31・3・3～31・3・14	7	13	20	3	1	24		
第37回	令和元年度	(2019年度)	新型コロナウイルス感染症が拡大していたため中止								32	1.6	
第38回	令和2年度	(2020年度)	新型コロナウイルス感染症が拡大していたため中止										
第39回	令和3年度	(2021年度)	新型コロナウイルス感染症が拡大していたため中止										
第40回	令和4年度	(2022年度)	アメリカ合衆国	オレゴン州	05・3・6～05・3・17	4	16	20	3	1	24	40	2.0
第41回	令和5年度	(2023年度)	アメリカ合衆国	オレゴン州	06・3・4～06・3・15	4	16	20	3	1	24	42	2.1
合計						271	541	812	110	37	959		

学校からの推薦数 倍率